



令和4年度
宇陀市まちづくり活動応援補助金
成果報告書



宇陀市政策推進部政策推進課

令和5年10月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1

各事業の成果 ※以下事業名()内は実施団体名

(1) 三本松地区まるままるベリー計画	2
(一般社団法人 クオリティオブライフ SANKI)	
(2) 宇陀松山 薬草 発酵 博覧会の開催	3
(宇陀の薬草を全国に広める会)	
(3) 大和宇陀ワクワク体験プロジェクト	4
(ゆたかな宇陀)	
(4) 城山城跡及び龍口城跡を中核にした地域活性化事業(ふるさと歴史「生き」「活き」プラン)	5
(龍口地区活性化プロジェクトチーム)	
(5) 芳野城を中核にした地域活性化事業(芳野城夢プラン)	6
(芳野城を守る会)	
(6) 日本中の20～30代に宇陀を『伝える』映像制作プロジェクト	7
(宇陀未来推進会議)	
(7) うだ子ども能楽教室	8
(うだ子ども能楽教室)	
(8) 榛原駅イルミネーション事業	9
(イルミネーション実行委員会)	
(9) 地域と創る宇陀の魅力事業	10
(紀伊半島交流会議伊勢街道分科会)	
(10) 宇陀松山親子寺小屋	11
(UDAミニバスケットボールスクール)	

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関(宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会)による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査(書類審査)

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査(公開プレゼンテーション)

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。
	・自主性をもった企画・運営となっているか。
	・地域活動支援の目的と合致しているか。
公益性	・事業の成果が広く地域に還元されるものか。
	・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。
	・市の施策と方向性が合致しているか。
	・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか。
	・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。
	・ほかの方法で代替できないものであるか。
	・経費の使途が適切なものか。
実現性	・目標(達成すべきこと)が明確なものか。
	・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。
	・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
新 元秀	公募委員
竹内 和代	公募委員
中野 庸介	公募委員
越野 征人	公募委員
藤本 和巖	奈良県文化・教育・くらし創造部青少年・社会活動推進課
鴻池 昭英	宇陀市役所 副市長

※審査委員会(令和5年10月14日)現在

補助事業の実施内容

R4年4月からR5年3月まで定例会議及び生産地整備
 R4年10月2日 生産地除草及び準備作業
 R4年10月15日 生産地害獣対策作業
 R4年10月16日 マルベリー秋苗植樹、三本松子ども会記念植樹
 R4年5月、6月 果実収穫及び加工品作成

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

本年度も休耕作地の有効利用としてマルベリーの秋苗を300本植樹する事ができ耕作地周辺の害獣対策ができた。三本松子ども会とも記念植樹を通じて農育ができた。

事業実施団体

名 称	一般社団法人クオリティオブライフSANKI
所在地	宇陀市室生三本松3933番地
設立の経緯・目的	三本松地区の少子高齢化により自治運営の弱体化を感じ地域振興及び活性化を目的とし地元消防団として自治運営に協力してきた会員で構成された法人です。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団として自治運営に協力。 ・地域環境整備。 ・ふれあい運動会運営協力。 ・ふれあい夏祭り運営協力。 ・廃品回収、自治防災協力。

宇陀松山薬草発酵博覧会の開催 【新規】

補助金額
500,000円

宇陀の薬草を全国に広める会

補助事業の実施内容

旧大宇陀町松山地区周辺の3つの会場(奈の音、久保本家酒造、報恩寺)を中心に3つのイベントを同時に行った。実施日:令和4年6月4日、5日

1) 薬草・発酵に関するイベント

薬草や発酵に興味を持っている人を対象に、全国からその分野で活躍している方を講師に招き、講演や、地元で薬草・発酵に関連する仕事をしている方を講師に招き、講演やワークショップ、薬草観察会、薬草施術等を実施した。

2) マルシェを中心としたイベント 一般の方を対象としてマルシェ、手仕事市、ライブ、まちなみ探索、空き家見学(移住相談)、スタンプラリー等を実施。一般の方がマルシェに来ることで、宇陀が薬草のまちであることや、まちなみ探索や空き家見学ツアーを実施し宇陀への移住に関心を持ってもらうことも目的に実施した。

3) まちなかの協賛店(飲食・土産物店等)の参加イベント

主会場のみならず人が集まるのではなく、まち全体がマルシェとなり、協賛店を記載したイベントマップを持ちながら、参加者が町中を散策し買い物が楽しめるようになることを目的に実施した。



補助事業の成果と今後の活動に向けて

イベント開催日が6月4日からで宇陀市まちづくり活動応援補助金の採択決定が4月27日であったため、準備期間が1カ月しかなく、チラシ等の作成作業が大幅に遅れた。しかしながら、イベント開催発表直後より、各方面からの反応が大変良く、ネットによる講演会等の事前予約は好調で、キャンセル待ちが続いた。そのため、急遽定員を増やしたりして対応に応じた。イベントの参加人数については、正確に把握することは難しいが、ネットによる事前予約、当日の受付名簿やスタンプラリーの参加者、各マルシェ会場での入場者から、総合的に考えて、1日あたり少なくとも500人程度来場していたと考えられる。名簿からは、県内のみならず県外や関東方面からの参加者もたくさんおり、当初の第一目標「宇陀は薬草のまち」であることを知ってもらう目標は達成できたと確信している。

事業実施団体

名 称	宇陀松山薬草発酵博覧会
所在地	宇陀市大宇陀西山91
設立の経緯・目的	大宇陀地区で独自にマルシェを開催していた、奈の音、久保本家酒造、報恩寺が薬草のまち「宇陀」をもっと全国へ広めようと、マルシェを同時開催にして、従来のマルシェやライブはもとより、「薬草・発酵」の専門家の講演会やワークショップを実施する新しいイベントを開催することを目的に設立。
主な活動内容	1年に1回の「宇陀松山 薬草 発酵 博覧会」の開催。

ゆたかな宇陀

補助事業の実施内容

体験プログラムの実施

(1)宝探しと陶芸体験(室生地区)、(2)お寺で夏合宿(大宇陀地区)、(3)ごぼう収穫体験(菟田野地区)、(4)祝い大根収穫体験(菟田野地区)、(5)しいたけ菌打ち体験(菟田野地区)、(6)味噌作り体験(大宇陀地区)

関係人口勉強会の実施

(1)第6回目 交流会、(2)第7回目 佐野健氏さん、(3)第8回目 小田切聡さん、(4)第9回目 豊城里佳さん、(5)第10回目 宇陀を楽しむ会、(6)第11回目 大西ちかこさん、(7)第12回目 イラストレーター山本 悠さん 広報活動

ゆたかな宇陀新聞夏版、宇陀広報紙への折り込み

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

広報紙に折り込みを行ったことで、宇陀市内での認知が広がったと共に宇陀市内からの参加者が増えた。また大阪からの参加者の方がご自身で営んでいる大阪のお店で宇陀の野菜を販売してくれた事が縁で、宇陀を知ってもらいイベントをその店で開催する流れとなったのだが、都市部のコミュニティー活動をしている人につながることで、輪が広まるのが良くわかったので、今後も続けていきたい。リピーターの方も多く、移住希望の方もおられたので移住サポートも次年度はやっていきたい。

事業実施団体

名称	ゆたかな宇陀
所在地	宇陀市大宇陀大東45番地
設立の経緯・目的	会員の多くがコロナ禍になる前に宇陀で修学旅行生の民家ステイを受け入れていた。「聞いたことはすぐ忘れる。見たことは少し覚えている。体験したことは一生忘れない。」という言葉があるように、学生さんに限らず多くの市外の人に、輝く歴史と豊かな文化のある宇陀のこの地域で体験プログラムを通じて宇陀ファンになってもらいたい。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムを開発し、市外の人に宇陀の魅力や良さを知ってもらい再度宇陀を訪れてもらうきっかけを作る。 ・SNSやホームページを活用し、離れているいてもつながりが途絶えない関係性を構築する。 ・高齢者の技能や技術、地域の言い伝えなど後世に継承しないといけない情報を収集する。 ・地域の青少年に地域の根ざした勤労観・郷土愛を育む体験プログラムを提供する。 ・通販サイト立ち上げ、都市との経済的な循環を作る。 ・移住や2拠点生活の相談窓口となる。

城山城跡及び龍口城跡を中核とした地域活性化事業 (ふるさと歴史「生き」「活き」プラン)【新規】

補助金額
400,000円

龍口地区活性化プロジェクトチーム

補助事業の実施内容

- 令和4年11月5日城山城跡トレッキングコース周辺において、龍口区自治会会員が中心となりチェーンソー等を利用してトレッキングコースのかすき伐採、雑木伐採及び急傾斜部分の安全確保のため、手すりの設置を行った。参加者は28名。
- 令和4年11月6日 城山城跡トレッキングコース周辺において、龍口区自治会会員が中心となり、チェーンソー等を利用してトレッキングコースの雑木伐採を行った。参加者は17名。
- 令和5年1月22日 城山城跡トレッキングコース周辺において、龍口区自治会会員が中心となりベンチを7脚設置。チェーンソー等を利用してトレッキングコースのかすき伐採、雑木伐採及び急傾斜部分の安全確保のため、手すりの設置、及び案内板の設置を行った。参加者は14名。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・龍口地区自治会会員がトレッキングコース整備に関わることで、地域の歴史資産に触れ、地域の誇りを呼び起こす絶好の機会にすることができた。
- ・トレッキングコースから龍口地区および周辺を展望できるようになり、歴史的な追体験が可能になった。

事業実施団体

名称	龍口地区活性化プロジェクトチーム
所在地	宇陀市室生龍口473番地
設立の経緯・目的	・城山城跡及び龍口城跡について名張市錦生自治協議会と共同してトレッキングコースの整備が行われ、今後これを歴史資産の中核と位置付けて、龍口地区活性化のため利用しようと設立した。・本チームは、以下に掲げるような共同活動を行うことにより、龍口地区における環境整備等により龍口地区の活性化を期することを目的とする。
主な活動内容	(1)城山城跡及び龍口城跡を中核とした地域活性化事業(ふるさと「生き」「活き」プラン)(2)里山の歴史ある有形文化遺産を整備することにより地域の活性化を図る。(3)両城跡(有形の文化財)及び龍口獅子舞(県及び宇陀市無形文化財)の保存とコラボ(4)龍口地区の環境美化活動並びに映画・ドラマのロケ地として紹介するための広報活動。

芳野城を中核にした地域活性化事業 (芳野城夢プラン) 【3年目】

補助金額
300,000円

芳野城を守る会

補助事業の実施内容

第1回委員会 協議内容 ・芳野城の道の整備について ・イベントの実施について
 愛1回奉仕作業 作業内容 案内板の設置
 第1回先進地視察 王寺町
 第2回役員会 協議内容 ・芳野城の道の整備について ・イベントの実施について
 第2回奉仕作業 作業内容 芳野城の道の整備
 第3回奉仕作業 作業内容 案内板の設置
 第1回イベント 芳野城山頂から狼煙(のろし)を上げる
 第3回総会 紙面で報告

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

3年間の整備事業で安全で安心して登城できる芳野城になってきた。また、芳野城のホームページや市の広報、御城印などの効果もあり、多くの方が芳野城を訪れ、芳野城の認知度も高まってきた。さらに、芳野城に対する関心も高まり、地元の小学校である菟田野小学校の子どもたちも訪れたり、歩こう会のコースになったりしている。

事業実施団体

名 称	芳野城を守る会
所在地	宇陀市菟田野下芳野1228-2
設立の経緯・目的	宇陀三将のイベント以降、芳野氏や芳野城のことを尋ねられることが多くなった。しかし、地域住民は、尋ねられても芳野氏や芳野城のことを知らないのが現状である。 そこで芳野氏や芳野城を多くの人に知ってもらうために、芳野城を整備し、案内板を設置したいと考えた。そして、「芳野城を守る会」を立ち上げ、芳野地域の活性化につながることを切望した。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芳野氏や芳野城に関する学習会の開催。 ・芳野城の案内板の設置。 ・芳野城への道の整備、草刈り。 ・芳野城頂上付近の整備。 ・芳野地域の歴史や史跡を知る取組の実施。

日本中の20～30代に宇陀を『伝える』映像制作プロジェクト 【新規】

補助金額
400,000円

宇陀未来推進会議

補助事業の実施内容

宇陀在住の20代～30代4名を対象として、町を考える動画「あなたの町検定」の撮影実施。
宇陀未来推進会議メンバーの紹介動画撮影。
なかぼ荘にて宇陀市内外から5名の方に参加頂き、「あなたの町検定」の上映会および宇陀のことを話すイベントを実施。当日は、参加者同士の宇陀の好きな所やこれからどのような町にしていきたいかをディスカッションを行いました。
宇陀のことを紹介する動画の第一弾の撮影を実施。宇陀市内各所を周り風景の撮影およびカエデの里ひららにて施設紹介の撮影およびインタビューを実施。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

出演者や上映会の参加者から改めて宇陀のことを考える良い機会になったという声や、今後どのような町にしていきたいか、どんなコトがあったら良い町になるかを若者目線で話し合うきっかけになってよかったとの反応がありました。
自然が豊かでちょうどよい田舎。市民の方が優しい。
市内の学生のディスカッションの題材に動画を活かせる。
共働き世代に過ごしやすい町作り等々

名称	宇陀未来推進会議
所在地	宇陀市菟田野古市場511の2
設立の経緯・目的	これからの宇陀を支え発展させていく為に20代～30代を中心とした次世代の担い手の繋がりを創るために設立。宇陀の気候風土を活かした伝統産業、並びに宇陀ならではの暮らし方を共有し、多くの人にその価値を発信していくことで、宇陀を知ってもらいきっかけを創ることを目的とする。
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・20代～30代をターゲットとした宇陀の「暮らし・仕事・風景」を題材にした映像作品の制作及びSNS等での発信。 ・宇陀の気候風土を活かした仕事に興味ある若者を誘致し宇陀の紹介や地域住人の繋がりを創り、後継者不足等の課題をもつ伝統産業に携わる人口を増やす。 ・定期的に自らのことや、宇陀のことを考える宇陀未来推進会議を開催し、同世代の繋がりを創る。

補助事業の実施内容

- ・プロの能楽師から能楽の手ほどきを受けることにより子どもたちの心を豊かにする他、能楽を通じて正しい礼儀作法を身に付けることができる。
- ・夏休み以外に毎月1回から2回教室開催
- ・参加者10名(大宇陀小学校5名、菟田野小学校3名、榛原東小学校1名、室生中学校1名)。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・稽古始め終わりの挨拶、正座、扇子の扱い方などの基本を身につけることができた。
- ・「老松」など数曲の謡や仕舞ができるようになった。
- ・伝統文化にふれ、その良さを知ることができた。
- ・目標に向かって努力するという経験を積むことが子どもの生活で活かされている。

事業実施団体

名 称	うだ子ども能楽教室
所在地	宇陀市大宇陀調子329番地
設立の経緯・目的	○伝統文化の能楽をプロの能楽師から手ほどきを受けることにより、子どもたちの心を豊かにする。また、能楽を通じて正しい礼儀作法を身につけることが出来る。 ○「あきの蛍能」等での発表を通じて郷土に愛着を持ち、日本の伝統文化に関心を持つ子どもに育てる。
主な活動内容	○観世流能楽師による能楽の指導。 月2回程度実施。 ○稽古の成果を「あきの蛍能」等で発表する。 ○県内の子ども能楽教室と交流する。

補助事業の実施内容

事業内容

榛原駅北口、南口にイルミネーション設置によるライトアップ

設置期間 令和4年12月10日から令和4年2月17日 点灯時間 17時から24時

「ちょっと寄り道したい町、やっぱり寄り道したい町」を基本コンセプトとした「伊勢街道とふれあいの町づくり」を事業軸に据えた「まちづくり事業」の一環として、多くの人々が行き交う駅前の景観の美化を促し、市街地のにぎわいの創出を図り、まち全体に活気を呼び込むことを目的とする。

今年度は「まちづくり活動応援補助金」の補助により、新たな試みとして、榛原駅南口バス停乗り場、時計台、榛原駅北口通路と設置場所を拡大した。

また予定していた点灯式はコロナウイルス感染症拡大状況に鑑みて中止した。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

例年よりイルミネーション設置場所を拡大することができ、多くの人々が行き交う駅前を華やかに装飾することができ、駅前の景観の美化と市街地のにぎわいの創出ができた。次年度、実施するにあたって駅南口の街路樹や駅北口通路（北口ロータリー方面）への装飾設置や宇陀市公式キャラクターのウッピー、ハッピーの装飾制作・設置等の実施を検討している。また、駅利用者、地域の方々喜んでいただけよう今後も事業を継続し、より良いものにしていく。

事業実施団体

名 称	イルミネーション実行委員会
所在地	宇陀市榛原萩原160-1
設立の経緯・目的	地域住民の方々からの要望で、駅周辺の活性化が挙げられたため、冬場の駅前をイルミネーションで飾り付け景観美化を行う事により活性を期待し、平成14年度から青年部により活動が開始された。そして、今後さらなる事業規模拡大の為に、当実行委員会を設立した。
主な活動内容	12月から2月イルミネーション実施期間中はイルミネーションの設置及び設備維持、撤去作業を計画し行っている。 イルミネーション実施期間以外、毎月1回会議を行い、次のイルミネーション事業における実施内容（駅前のどこに設置するか、設置する時期や日取りはいつにするか、どのような電飾を新たに購入し設置するのか等）を打ち合わせて決めている。

補助事業の実施内容

1. 平井大師山石仏群パンフ制作 9,000部。大師管理委員会3,000部、宇陀市観光課3,000部
2. 平井大師山草刈作業に協力・意見交換会 平井自治会と協働
3. 「自転車で巡る宇陀の佐吉石造物」モニターツアー参加者3人・スタッフ6人・大師管理委員5人
4. 伊勢本街道ウォーク+「諸木野から高城岳・三郎ヶ岳へ」参加者10人・スタッフ5人、田口まち協他3人 田口まち協・歴史街道推進協議会と協働
5. 松山城跡と精進料理をプラス「昭和8年復刻地図でめぐる宇陀松山」参加者19人・スタッフ5人・阿騎野物産会他5人 阿騎野物産会・奈美秀照と協働

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

新型コロナの感染拡大のため令和3年度に中止したウォークイベントを中心に事業をすすめ、まち協をはじめ地域の団体と協働して既存の観光資源に新たな魅力をプラスすることができました。また、地域とのふれあいの場をもつことで、宇陀に親近感を持つようになった参加者が多くありました。パンフ制作では大師管理委員会から石仏群を案内するガイド育成講座の開催を要望されました。これからも地域の方々との対話を深めて、アフターコロナを見据えた「マイクロツーリズム」のモデルづくりをめざします。私達の取組みを通じて、各地で地域の歴史や文化を知り、様々な宇陀の誇りづくりが芽生えることを期待しています。

事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	「紀伊半島交流会議」は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて平成16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。その中で「伊勢街道分科会」は伊勢街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	主な活動としては、。古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査し、その情報を発信するためにウォーキングイベントを開催しています。平成19年からは風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成をはじめ、地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など、街道の歴史的資産の保全活動を進めています。

補助金額
300,000円

宇陀松山親子寺小屋 【新規】

UDAミニバスケットボールスクール

補助事業の実施内容

毎週土曜日と日曜日で、可能な範囲で、簿記学習会を開催した。受講生は、小学4年生から中学生とその保護者が、毎回多数参加した。
年間で、小学6年生が15名、5年生が15名、4年生が2名、保護者とその他の人も合わせると約100名ほどが参加した。数回経験して、大会される方もいたが、ある程度簿記について理解していただいたと思われる。

高校や大学でしか学べない簿記を
親子で学びませんか?
いつからでも始められます

日商3級合格しました!
奈良県最年少合格
小5の6月に合格

うだ市民講座

例会 毎週土曜日 16:00~18:00
会場 市立大宇陀体育館 会議室
対象 宇陀市在住の親子
(小6~中2がお薦め)
受講料 無料(宇陀市まち活補助金事業)
教材費 2,000円のみ

講師 県立商業高等学校
簿記部顧問 鈴木勲生

TEL 090-8984-7240

宇陀市 市民講座
「簿記学習会」のご案内

例会 毎週土曜日 16:00-18:00
会場 宇陀市立体育館 会議室
対象 宇陀市在住の親子(小6~中2が講師)
講師 県立商業高等学校 鈴木先生
参加費 無料(宇陀市まち活補助金事業)

連絡先 宇陀市立商業簿記学習会 実行委員会事務局
電話 ☎090-8984-7240

補助事業の成果と今後の活動に向けて

今年度は受講生の中から小学生が3人とその保護者が3人日商の3級に合格した。そのうち一人は小学5年生の8月に合格したので、奈良県最年少の合格者となって、新聞でも話題となったので、一定の成果を上げることができたと思われる。しかし、まだまだ簿記に対する関心は低く、豊かな生活を実現できる職であることを認識して頂いていない。今後は公立の小学校の総合学習や公立中学校の職業指導の時間と連携を図り、簿記学習の重要性や有効性について、理解が広まるように簿記学習会を開催していきたい。

名称	UDAミニバスケットボールスクール
所在地	宇陀市大宇陀下本2175
設立の経緯・目的	当時、大学生で大宇陀の中学を指導していた頃に京都で開催された近畿大会に出場した際にミニバスケットを知り、奈良県最初のミニバスケットチームを結成した。当初、奈良県南部の底辺の拡大の為にスタートしたが、今では4歳児から小学6年生までの8年間の教育を町おこしとリンクして進めるユニークなミニバスチームとして注目を集めている。
主な活動内容	1.4歳児、5歳児対象 45分の日曜教室 2.週1教室(小学1年生から6年生) 90分の日曜教室 3.週2強化(小学1年生から6年生) 土曜、日曜の全日練習 4.朝のオンライン寺子屋 毎朝6時15分から6時55分 5.月1回の親子寺子屋 第1土曜の8時30分から10時 6.ゲスト大会(毎月、近畿の強豪を集めた大会を開催) 7.12月 宇陀市長杯を開催(昨年度準優勝)